

# グリーンハーバー

NPO法人 みどりの市民 ニュースレター

No. 42  
2018.1

発行:NPO法人  
みどりの市民  
〒380-0836 長野市  
南県町 685-2  
長野県食糧会館3階  
発行人:高木直樹

## 2018年の正月に思うこと

代表理事 高木直樹

皆様あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。

平成も30年になりました。平和に成る。あるいは平和を成す。という意味の年号の時期は残念ながら中東地域を中心に決して平和とはいえない時期でした。イラン・イラク戦争は1988年(昭和63年)に終結しましたが、その後(平成の時代)の中東に戦争、テロの火種をまいた戦争でした。テロを無理やり押さえ込もうとしたことは、テロの拡散につながり、湾岸戦争では日本も戦費を負担する時代に入りました。

平成13年9月11日イスラム過激派によるニューヨークでのテロはアメリカ人の憎しみの心に火をつけ、更なる強硬手段が選択され、その後はテロとの戦いという名目のために、強硬手段が続けられています。平和憲法を持つ日本は戦いには参加できないため、資金面での参加から始まり、治安維持のための部隊の派遣、戦時の後方支援と活動の幅も地域も広がってきました。そして集団的自衛権の拡大解釈まで容認することになっています。

平和のための戦争を続けてきたことで、平和を達成することができたのかを考えると、どこかで道を誤ってしまったとしか思えません。現状を見れば、中東で広がった危険な空気は世界中に広がっています。東アジアでも日本と中国、韓国との関係は悪化し、北朝鮮は核兵器を武器に世界を相手に恐喝を行っています。

日本の若者はこうした事態に対して、日本を守るために強硬手段を選択すべきという考えを持つ人が多いと、メディアは報じています。1970年代に「戦争を知らない子供たち」という名曲が生まれましたが、あの曲は戦争を知らないからこそ平和な時代でありたいという曲でした。今の戦争を知らない子供たちは複雑化した時代を切り抜けるために、様々な外交的手段をとるといような面倒な手続きではなく、究極の解決手段である戦争を選択したいのでしょうか？中東において勝利国の喜びの陰で何万人という普通の人々が亡くなったという事実を自分のこととして考えることはできないのでしょうか？

みどりの市民は環境を考える団体です。こんなことを書くことは、人によっては、みどりの市民に対して不信感を与えてしまうかもしれません。しかし、戦争は最悪の環境破壊です。そうした事態にならないように、声を上げていきたいと考えています。

今年が平和な年でありますように。



# 北部高校「地域授業・地域の自然講座」について

みどりの市民理事・北部高校教諭 馬嶋 通

## ■ 北部高校「地域授業」について

北部高校（長野市の北隣、飯綱町普光寺かつての三水村にあります）では、総合的学習の時間を「地域授業」と位置づけ、地域の方々を講師に地域について様々なことを学んでいます。1年生はりんご作り・そば打ち体験・鍛冶屋体験など全員が同じ内容を広く学び、2年生は保育・郷土食・郷土の歴史などテーマごとに開設された講座の中から各自一講座を選択し、一年を通してテーマに沿った内容を体験的に学習します。「地域の自然講座」はその講座の1つです。

昨年度から、「地域の自然講座」担当となり、みどりの市民にご協力を頂きながら北部高校周辺に広がる里山をテーマに、様々な自然に関する体験的な学びを行ってきました。理事の清水久美子さんには特別講師としてほぼ毎回おいでいただいております、生物調査の道具や資料の準備なども含め様々な形でご尽力いただいております。

## ■ 講座の概要

平成29年度 2学年 『地域の自然』 年間授業計画 担当：馬嶋・清水久美子先生		
4月12日	オリエンテーション・年間計画・目標立案のための話し合い	
4月19日	身近な里山を歩く ① 鼻見城山	最も学校に近い里山である鼻城山を歩き、里山の森とそこに生きる動植物を観察する。また芋川用水についても学ぶ。
6月14日	田植え体験 ② さんくゼール近くの水田	鳥居川・芋川用水の水でつくる田んぼで田植えを行う。森から流れ出し、川から用水で引かれた水がどう活用されるかを知る。
6月21日	川の生物採集と観察 ③ 鳥居川	牟礼駅近くを流れる鳥居川で水生生物を採集しどのような生き物がいるのかを調査する。
7月12日	まとめ・田んぼの生き物 ④ 里山と水の利用まとめ	里山の自然とはどのようなもので、生活とどうつながっているかここまでの内容をまとめる。（田んぼの生物についても調べる。）
10月11日	森林整備体験 ⑤ ポブスレーリュージュパーク	間伐などの森林整備を実際に体験する。
10月18日	炭焼き窯見学 ⑥ 地元普光寺の佐藤氏の炭焼き窯	地元普光寺で長年炭焼きをされている佐藤氏の炭焼き窯を訪ね、実際の炭焼きがどんなところで行われているかを知る。
11月22日	炭焼き体験 ⑦ 炭焼き・燻製づくり(校内)	炭焼きを実際に行ってみる。併せて燻製づくりも体験する。
11月29日	地域の自然エネルギーを知る ⑧ 長野市浅川・お山の発電所見学	地域の森林資源を活用した火力発電所である『お山の発電所』を見学し、森がエネルギー源としても活用されていることを知る。
1月17日	除雪を学ぶ ⑨ 学校にて	北部高校への通学路・校内の除雪をはじめ冬の地域の生活を支える除雪はどのように行われているかを知る。

## ■ 授業の様子

### ○4月19日 鼻見城山自然観察

登山口周辺の林縁ではホオジロが囀り、まだ明るい林床にはシュンラン・カタクリの花、ウワミズザクラの花もちょうど咲いていました。麓を流れる芋川用水は「三水(3つの用水)村」の「三水」の1つで、地域の米はこの水でつくられていることも学びました。



左：シュンラン 右：カタクリ

左：ウワミズザクラ 右：芋川用水



○6月14日 田植え体験

地元の休耕田を復活させて米作りに取り組んでいる株式会社フュービックの方と共に、田植えを行いました。泥と格闘し力を合わせて1時間半ほどで田植え完了。  
田んぼのすぐ上の斜面を芋川用水が流れています。



○6月21日鳥居川での水生生物採集と観察

あいにくの暴風雨で、川での生物採集は断念。清水さんに採集してきて頂いた川底の石と水の中から水生生物を見つけ出して観察。カゲロウの幼虫など普段見ることのできない生物を観察できた。生息する生息種から鳥居川の水はきれいであることもわかりました。



↑ 昨年の様子

○7月12日 田んぼの生き物

学校のすぐ下側にある三水北小学校の田んぼで生き物を採集し観察しました。



### ○10月11日 森林整備体験

長野市浅川のボブスレーリュージュパークにある「市民の森ながの」で「市民の森ながの」のメンバーの方々にご協力いただき、間伐作業を体験させていただきました。



### ○10月18日 地元の炭焼き窯を見学

地元の飯綱町普光寺で炭焼き業をしておられる佐藤氏の炭焼き場を見学させていただき、炭焼きについてお話しをお聞きした。薪割りなど作業の一部も体験させていただいた。



### ○11月22日 炭焼き燻製づくり

清水さんにご指導いただき、炭焼きと燻製づくりを体験しました。炭焼き燻製づくりのためのたき火で焼き芋も焼いて食べました。



### ○11月29日 お山の発電所見学

長野市浅川のお山の発電所を見学し森林資源が発電にも活用されていることを学びました。



○1月17日には、地元飯綱町の冬の生活を支える除雪について町役場の方からお話しを聞く予定です。

# ～ごぶさたデーす～

## 私の近況報告

山崎 佳久

私が長野を離れてから今年で16年（この内佐渡島が8年）になります。今は、東京と山梨を行ったり来たりで春3月から秋の終わりの9ヶ月は、一週間の内4日間は山梨で拘りの偽百姓をしています。その拘りとは、長野、佐渡で仲間の皆さんと勉強してきた自然農業です。私の拘りはEM（ボカシ、活性液）落ち葉や野菜くずで作った堆肥そして家畜の排泄物（牛糞、馬糞、鶏糞等）を使った有機農業です。

農地（借地）は2箇所あり、その内の一つは中央道の須玉インターに近い「高根クライנגルテン」です。ただこのクライングルテンは一般に言われているクライングルテンとは異質で、用意すべきラウベ（小屋）がなく市民農園の様な形態です。でも規模は大きく（42ha）で一区画は50㎡と小さいが約120区画もあり、他には都会の小、中学生がバスを連れ山梨名物「ホウトウ」作りの研修に来ます。



クライングルテンの一部

また、この農園の利用者はその7～8割は首都圏の東京、千葉、埼玉等の住人で土、日を利用して農作業をやりに来るんです。過日、千葉の野田から来ている人と話す機会があり「千葉にも休耕地はいくらでもあるでしょ、何でこんな遠くにくるの?」「千葉には確かに空き農地はいっぱいあるけれど山が無い、山の景色を見たくてくるんですよ!」山のある景色があたり前の自分にとってただびっくりするばかりでした。



清里の山小屋

ここでは、季節季節で収穫祭りや研修会が親睦会を兼ねて度々行われます。この前10月に行われた研修会での事、面白いと言う



芋掘り（10月）

かあきれた話。北杜市農協の技術員を招いての農業研修会でテーマは「連作障害について」で障害の起きやすい野菜、相性の悪い野菜について説明があり、作付け時、畑の中でのローテーションや近づけて植えない方が好い野菜について淡々と話をしてくれました。最後に質問の時間となって私は最初に手を挙げ質問「大枠での連作障害については理解しました。ただ、私が今知りたいのは、小規模農園での障害野菜のローテーションや相性が悪く近づけて植えない方がいいと言っても50㎡程度の農地でどうすれば障害に対応できるんですか?」これに対して暫く考えた末の答えは「私共は家庭菜園など小規模の農地に対する連作障害についてはこれまで扱ったことが無いので・・・」おいおいちょっと待ってよ!ここに何しに来たのよ・・・従って何の参考にもなりませんでした。

もう1箇所の農地は清里の萌木近くで標高が1200mの高地にある農家の休耕地で約600㎡程の借地ですが、高地でもあり、その半分は蕎麦の栽培で、ほかには高地でしか栽培できない花豆や高原野菜を作っています。近年は、温暖化のせいか気温も昔に比べて高く、イモ類なども良く出来るんですよ。



ソバの芽吹き（8月）

この頃はすっかり寒く氷点下10度近くにもなる日もあって春までクローズです。

## “みどり農園”の活動を振り返って

今年ひまわりの栽培を止め、大豆主体となった転換の年になりました。また、秋には地主さんの意向で現在地での耕作は止めて農地をお返しすることが決まりました。遊休農地を耕作し、雑草地を増やさない取り組みをしてきたみどりの市民としては地主さんが耕作することになったことは嬉しい事です。

今後はみどりの市民橋本理事の遊休地が「若穂



寺尾の畑、最後の収穫

・川田」地域にあり、そこに移転する予定です。面積は少し縮小されますが、大

豆等の耕作には支障なさそうです。

今年のみどり農園の大豆は“豊作”でした。昨年の2倍以上の収穫がありました。原因はわかりませんが結果的に気候の状態が大豆には良かったものと思われます。例年の薩摩芋も順調に育ち、芋掘りと焼き芋を家族参加の方々と楽しむことができました。初めて栽培した「ソルガム」は課題を整理して今後の耕作活動の中で方向性を検討したいと思います。

個人の家庭菜園は繁忙さに左右され、思うように耕作できなかったかと思えます。

ジャガイモは初めて、3種類を蒔き、また、初めて“二期作”に挑戦し秋にも収穫しました。

移転先での耕作に会員等多くの方が参加し、支え、意義ある「みどり農園」となることを祈念しています。  
理事 山口吉久

## お知らせコーナー

### おいしいチョコレートの真実

～エコサロン&エシカルワーク～

食べて、ワークして、おしゃべりして、考えてみよう！

日時／2月4日(日)10:30～13:00

場所／ふれあい福祉センター4階和室

参加費／700円(資料代)

定員／20名(先着順)

申込み／1月30日(火)締切

(託児あり事前申し込み必要)

### 【予告】

H30 年度総会

5月12日(土)

### 【みどりの市民 1月～3月行事予定】

1月8日(月) 忍者フェスタ 参加

1月25日(木) 第5回理事会

2月1日(木) 生ごみアドバイザー第3回研修会

2月3日(土) 信州ESDコンソーシアム報告会

2月4日(日) エコサロン・エシカルワーク合同開催

2月7日(水) 「地域づくり出会いのひろば」 参加

2月24日(土) みどり農園交流会

3月25日(日) 第6回理事会



FMぜんこうじ毎月第4水曜日8時40分～50分

1月24日、2月28日、3月28日

### ◆◆◆ 会員紹介 瀬尾誠です 明けましておめでとうございます。◆◆◆

田舎暮らしの福島から長野に避難して7度目の年越しです。田んぼに蛍がたくさん帰ってきました。その田を見渡せる田舎暮らしの家のリフォームをすすめています。一緒に暮らして40年になる連れ合いは、船橋市の仕事を退職しましたが、退職したら福島で田舎暮らしをする夢が原発事故で破られました。すぐには帰れない福島のことを考えるために、福島に復興住宅を借りました。

東京電力と国の事故責任と損害賠償をもとめた裁判の判決には納得できず控訴しました。家族は千葉と長野と広島に遠く離れて暮らしていますが、できるだけ会うときをつくっています。戦後70年を振り返って記憶と資料を活かして、今の社会を生きていきたいと考えています。

皆様のご健康とご多幸を心より願っています。 2018年飯綱町瀬尾誠



奥の赤い屋根の家が、長野県飯綱町にある田舎暮らしのための家です

〒380-0836 長野市南県町 685-2

長野県食糧会館 3階

TEL&FAX 026-235-5113

E-mail midori@midori-c.com

URL http://midori-c.com/



《編集後記》 成年になりもう10日です。今年がどんな年になるのか、長野にとり日本にとり、世界にとり、地球にとり、良い年になるようにと、願わざるをえません。最近の様々な状況を見てみると...

みどりの市民の今年は大変な年になりそうです。ご支援ください。(事務局 H. W)